

第8回SDGsエコフォーラムin埼玉 申込用紙 [締切11/23(月・祝)まで]

専用の申し込みフォームよりお申し込みいただくか、必要事項をご記入
またはチェック☑の上、メールまたはFAXにてお送りください。
個人情報は目的以外には使用しません。

申込みフォームはこちら▶
<https://forms.gle/kKUGoCKdfdAFurRs6>



E-mail:center@kannet-sai.org FAX:048-749-1218

お名前	ふりがな	ご所属	個人の方は記入は不要です
E-mail	オンライン希望の方は必須(会場希望の方にもリマインド等の連絡をいたします)		
参加方法	☐ 会場 ☐ オンライン (※一部オンラインではご参加になれない分科会がございます)		

※ E-mail アドレスはお間違いのないよう丁寧にご記入ください。読み取れない場合、ご案内ができなくなります。

参加又は希望する箇所に☑をお願いします。定員に達し、ご参加いただけない場合はご連絡いたします。

全体会 (10:00 ~ 11:50) ※会場定員 300 名	
☐	・基調講演「SDGs達成に向けた埼玉大学の実践 ― 知をつなぎ、社会にひらく ―」 重原 孝臣 氏(埼玉大学 学長) ・埼玉県温暖化対策啓発動画コンテスト表彰式ほか
分科会 (13:30 ~ 16:30) いずれかに☑をお願いします。※会場定員各 50 名、オンライン定員各 100 名	
☐	ちいさな監督たちの、おうちの Well-Being の描き方
☐	水辺の生きものと生物多様性保全
☐	きれいな水を守り使う暮らし
☐	企業の脱炭素経営を考える
☐	若者が創造する持続可能な未来
報告書について (希望される方には、令和 9 年 3 月下旬に送付します)	
☐ 希望する	※送料 (300 円) は受付時にお支払いください。 オンライン参加者には、原則着払い (送料 300 円程度) で送付します
☐ 希望しない	
送付先住所 〒	
宛名 お申込み者と異なる場合はご記入ください	
様宛	

展示会を開催します。出展者募集！

必ず団体・企業でお申込み下さい。

- ・展示時間 11:50 ~ 13:30 (展示内容の説明をお願いします)
- ・展示会場は全学講義棟の一教室を想定
各団体1コマ 机(横幅180cm程度) 1つ、椅子2つ程度
パネル展示用パーテーションの用意はございませんので、パネル
展示をご希望の方は椅子に立てかける等の工夫をお願いします
※1団体 2コマまでとさせていただきます。

【締め切り11月9日(月)】
申込URL▶<https://x.gd/oEIPE>



申し込まれた方には、事務局から詳細を
ご連絡致します。出展ご希望の方は、上
記申込フォームにてお申し込みください。
ご不明な点は、事務局にお問合せ下さい。

第8回SDGsエコフォーラム in 埼玉実行委員会事務局
(埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎3階
TEL:048-749-1217(平日9:00~16:50) FAX:048-749-1218 URL:<https://www.kannet-sai.org/>



第8回 SDGsエコフォーラムin埼玉

つながろう 広がろう 世代を超えて

エコの環

日時 2026年12月6日(日) 10:00 ~ 16:30
会場 埼玉大学 全学講義棟1号館
&オンライン (一部のみ)
参加 無料 ※報告書が必要な方は送料をご負担ください

出展者
募集!



SDGsエコフォーラムin埼玉は、
「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継承し、
持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組としてスタートし、今年度で8回目を迎えます。
県内において環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、
地球温暖化防止活動推進員等が一堂に会し、情報交換、相互交流、情報発信等を通じて
SDGsの達成に寄与することを目的とします。

主催 第8回SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会
共催 埼玉大学、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、埼玉グリーン購入ネットワーク
後援 埼玉県

※環境省「令和8年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」及び公益財団法人サイサン環境保全基金を活用して開催します

プログラム予定

10:00～10:10

挨拶

会場：埼玉大学全学講義棟1号館3階 1-301講義室

10:10～11:10

基調講演

「SDGs達成に向けた埼玉大学の実践 ― 知をつなぎ、社会にひらく ―」

重原 孝臣氏(埼玉大学 学長)

講師プロフィール

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。1988年に東京大学大型計算機センター助手に着任後、埼玉大学工学部講師、助教授、教授を歴任。同大学工学部長、理事(教学・学生担当)・副学長、理事(研究・産学官連携担当)・副学長、大学院理工学研究科長などを務め、2026年4月に学長に就任。情報科学分野を専門とし、教育・研究の高度化や産学官連携の推進、地域と連携した大学改革に取り組んでいる。

11:10～11:30

埼玉県温暖化対策啓発動画コンテスト表彰式

11:30～11:50

埼玉県地球温暖化防止活動推進員感謝状贈呈式

埼玉県エコアップ認証事業所表彰式

11:50～13:30

展示会

埼玉県温暖化対策啓発動画コンテスト受賞作品上映会

13:30～16:30

分科会 ※5つの分科会を同時開催します

- ・ちいさな監督たちの、おうちのWell-Beingの描き方
- ・水辺の生きものと生物多様性保全
- ・きれいな水を守り使う暮らし
- ・企業の脱炭素経営を考える
- ・若者が創造する持続可能な未来

16:30～

ティーパーティによる交流会

会場：
2階または
3階各教室

各会場は、
事前にホームページに
掲載しますので、
ご確認のうえ
ご来場ください。

会場アクセス

埼玉大学

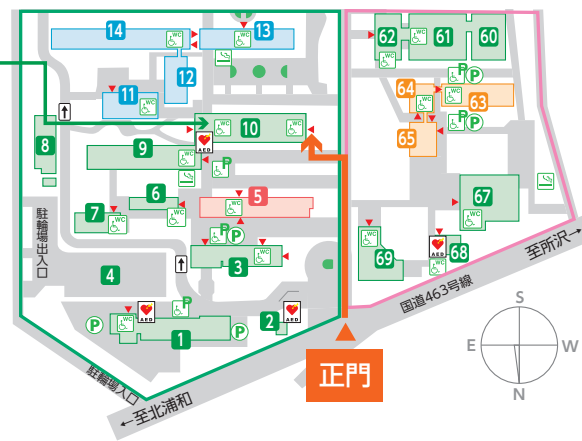
〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下大久保255

●電車でお越しの方

- ・JR北浦和駅西口5番バス停「埼玉大学」行【約15分】
- ・JR南与野駅北入口バス停「埼玉大学」行 または
南与野駅西口バス停発の全てのバス【約10分】
- ・東武東上線 志木駅東口バス停
「南与野駅西口」行【約25分】



フォーラム会場
10 全学講義棟 1号館



🍏デコ活 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」(デコ活)とは

「新国民運動」の愛称であり、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を強力に促し、豊かなより良い暮らしを目指す国民運動です。

分科会紹介

共通テーマは13
気候変動に具体的な対策を



各プログラム詳細は、
ホームページに順次公開します
<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2026/1206.html>



形式：講義＋パネルディスカッション

ONLINE

会場

ちいさな監督たちの、おうちのWell-Beingの描き方

～学生サポーターが語る、子ども主体のショートムービー制作の舞台裏～



これからの地球を生きていく子どもたちの目には、毎日の暮らしに潜む「温暖化対策」はどのように映っているのでしょうか?本分科会では、小学生が主体となって制作した「家庭の省エネとWell-Being」をテーマにした動画制作の裏側に迫ります。アイデアを形にしていって子どもたちの瑞々しい感性と、それを伴走支援した大学生サポーターの視点から、「みながご機嫌な社会とは」について考えます。

形式：講義＋その他

ONLINE

会場

水辺の生きものと生物多様性保全

～ネイチャーポジティブ(自然再興)は身近な地域から～



埼玉県は内陸県で海は有りませんが、河川が県土全体に占める面積の割合は全国2位と、豊かな水辺の環境に恵まれています。生物多様性と生態系保全により、水辺の環境に関わる生きものに的を絞り地域の取組を紹介します。生物多様性を守る為に、私たちにできる事は何か、様々な活動事例から皆と一緒に学び、関心を持ち、考え、行動しましょう。

形式：講義

ONLINE

会場

きれいな水を守り使う暮らし

～水をきれいにする微生物の働きや最新の技術を知る～



地球上の水は絶えず循環しており、この循環を健全に保つことが持続可能性につながります。本分科会は、きれいな水を私たちの生活に供給してくれる水の浄化方法として、微生物を活用した生物処理を始めとする様々な水処理技術について知り学びます。私たちの暮らしが水と密接につながっていることを共有しながら、守り使う暮らしを皆で考えます。

形式：講義＋ワークショップ

会場

企業の脱炭素経営を考える

～“今日作って、明日から使える” 脱炭素ロードマップ作成ワークショップ～



これからは大企業に限らず、中小すべての企業が「脱炭素経営」に取り組んでいく必要があります。本分科会ではカーボンニュートラルの基礎を学びとともに、企業の脱炭素経営について事例をもとに具体的なアクションを考えます。ワークショップでロードマップ作りを体験しながら脱炭素へのアプローチを考えます。学生・一般の方の参加も歓迎です。

形式：講義＋その他

会場

若者が創造する持続可能な未来

～若者の考えや主張を聞き、皆で考えるSDGsアクション～



埼玉県で開催される「広げよう!温暖化対策の環」ショートムービーコンテストへの応募者や環境活動を経験した若者から取組をとおして感じたことや考えなどを発表してもらいます。その後会場参加者と一緒に持続可能な地域デザインや達成するためのアクション等について意見交換します。若者からシニアまで未来に一步踏み出したい人、ぜひ集まりましょう。

※発熱等、風邪症状がある場合は会場での参加をお控えください。また、必要に応じてマスクの着用等、感染防止にご協力ください。